

さるの アイヌゴ



さば

.....
あたま



しき

.....
め



てけ

.....
て



なぬ

.....
かお

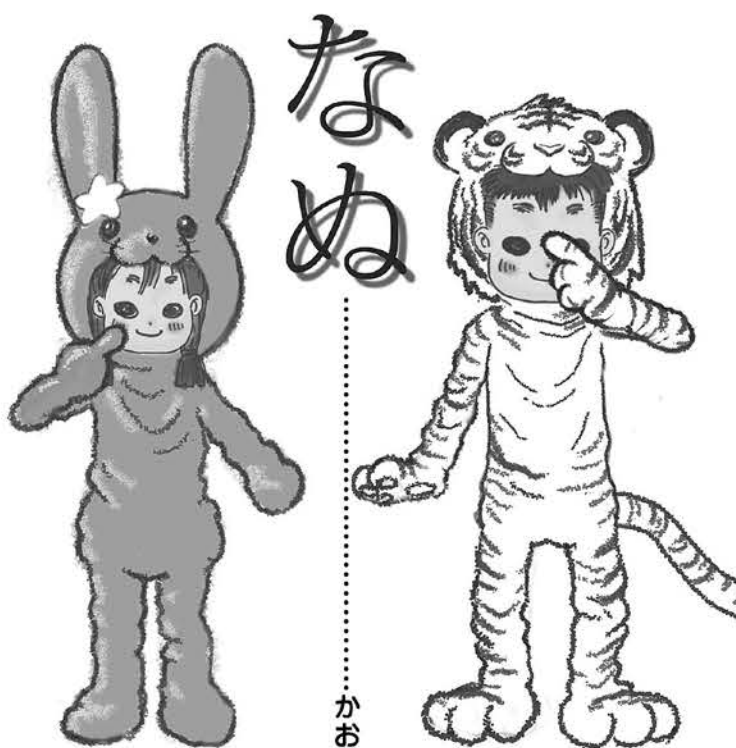
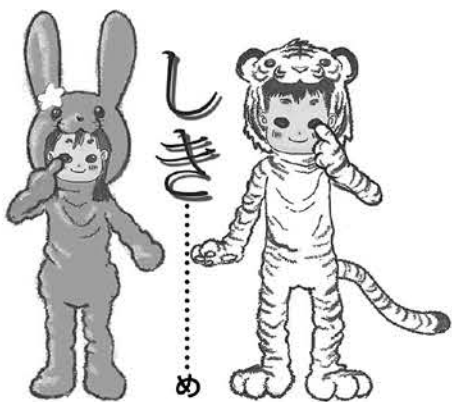


けま

.....
あし



さるの アイヌゴ



このテキストについて

当公益財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言、2011年度に、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を作成しました。2013年度は、これまでに作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、石狩川方言、カラフト方言、沙流方言の教科書を新に作成しました。

作成の意図、編集方針

この『さるのアイヌご』は、アイヌ語の基本的な表現を聞き、口にするを通じて、アイヌ語に親しむことを目的に編集しました。文法解説にはあまり踏み込まず、1年を通しての暮らしの中で、子供たちが実際に使えそうな文を掲載してあります。4月から始まっていますが、各月が独立していますので、どこから始めてもかまわないように編集してあります。教室では、あまり細かな解説はせず、例文を繰り返して聞き、発音することでフレーズを覚えてしまうことが最初の目標になります。例文を覚えた後は、練習問題に取り組むことによって応用ができるようになることを目指します。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少違います。そうした他地域の言葉・文化に関心を持ち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

本文に加え、「なぞなぞ」や「となえごと」などの伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら単語や文章を身につけられるようにしています。

例文と単語について

本書『さるのアイヌご』の本編の例文と単語は、日高地方の沙流川流域（平取町および日高町）のアイヌ語話者たちによって残された数々の資料に基いています。主に『アイヌ語音声資料 1～12』（早稲田大学語学教育研究所）『萱野茂のアイヌ語辞典』（三省堂）『アイヌ語沙流方言辞典』（草風館）『アイヌ語方言辞典』（岩波書店）などを参照しながらこのテキストを作成しました。

文例はこれまで発行された他方言のテキストの文例を基本にしつつ、執筆者の一人である大野が沙流方言の言い方にこれらの資料をもとに修正しました。

サンプル音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なるところがあり、特に難しいところは、お手本となる音声を聞きながら学習することが欠かせません。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように例文や単語、言葉あそび、歌などに発音した音声資料をつけました。収録に協力してくださったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使

っている方から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから音声資料をつけました。

文化的事項の取り扱い

本書はアイヌ語の教科書ですが、文化的な解説をしたコラムを挿入してあります。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、アイヌ語を学ぼうとする動機は様々ですが、本書を用いて学習する方には、かつての生活習慣についてもあわせて学びたいという動機を持っている方が少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、言葉を文化的な文脈の中で、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由から文化的な解説も行うこととしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『初級編』や『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を通じて、自然なアイヌ語の文に触れることをおすすめします。

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

【例文・単語】

太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）

高橋靖以（執筆協力）

【文法解説】

太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）

高橋靖以（執筆協力）

【言葉遊び・歌】

北原次郎太

【音声収録（五十音順）】

太田奈々、加納ルミ子、川上さやか、川村久恵、杉村フサ、竹内隼人、
豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、山本りえ

【イラスト】

小笠原小夜、椎名庵

はじめに

こんにちは、アイです。ヌイです。タクです。



アイ



ヌイ



タク

アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあと思って。アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば僕は、『初級編』までいかどうか自信がないけど、まずはこの本を見てみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1ヵ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいって、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないくて、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1ヵ月にひとつずつ読もうと思ってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しようっと。来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

もく
目

じ
次

4月 ^{がつ} みんなで遊 ^{あそ} ぼう……………	10
5月 ^{がつ} 楽しい山 ^{たの} 菜 ^{さん} とり……………	12
♪うたってみよう(1)～森 ^{もり} のくまさん～♪……………	14
6月 ^{がつ} 走 ^{はし} るのが速 ^{はや} いね……………	16
7月 ^{がつ} 海 ^{うみ} へ行 ^い こうよ……………	18
♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪……………	20
♪8月 ^{がつ} 先祖 ^{せんぞ} を大切 ^{たいせつ} に……………	22
9月 ^{がつ} おいしいものがいっぱい……………	24
♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪……………	26

10月	^{がつ} ^{ふゆ} ^く ^{まえ} 冬が来る前に	28
11月	^{がつ} ^{はり} ^{いと} 針と糸をもって	30
	♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜 ^{よる} ～♪	32
12月	^{がつ} ^{きょう} ^{さむ} 今日も寒いねえ	34
1月	^{がつ} ^{まつ} ^{じゅんび} お祭りの準備	36
	♪うたってみよう(5)～からだのうた (しずかなこはん)～♪	38
2月	^{がつ} ^{かん} ^{しゃ} カムイに感謝をする	40
3月	^{がつ} ^こ ^{さず} 子グマを授かる	42



アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

【母音】

ア イ ウ エ オ

【子音+母音】

カ	キシ	ク	ケ	コソ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		ド (トウ)	テ	ト
チャ	チ	チュ (ツ)	チエ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	イリ	ユ	イエ	ヨ
ラ		ル	レ	ロ
ワ		ウ	UE	ウオ

【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ (アス)	イシ (イス)	ウシ (ウス)	エシ (エス)	オシ (オス)
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ (アル)	イリ (イル)	ウル	エレ (エル)	オロ (オル)
アウ			エウ	オウ

【子音 (例としてカ行の音) +母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ (カス)	キシ (キス)	クシ (クス)	ケシ (ケス)	コシ (コス)
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ (カル)	キリ (キル)	クル	ケレ (ケル)	コロ (コル)
カウ	キウ		ケウ	コウ

* () で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二つの発音が聞かれる音節です。

アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

【母音】

a	i	u	e	o
---	---	---	---	---

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa		wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK) + 母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

がつ 4月 みんなで遊ぶほう

フクジュソウの花の咲く春は、新しい仲間や友だちに出会うことが多い季節です。
 みんなでアイヌ語を勉強しましょう。


フンナ ト°ラノ エエク ア?
 Hunna turano e=ek a?
だれ 誰 とともに あなたが来る か
 「誰と来たの？」

クコロ ハポ ト°ラノ ケク。
 Ku=kor hapo turano k=ek.
わたし 私 かあ お母さん とともに わたし 私が来る
 「私のお母さんと一緒に来たんだ」

ヘタク アイヌ イタク アニ シノツチャキアン ロ。
 Hetak aynu itak ani sinotcaki=an ro.
さあ さあ アイヌ アイヌ ことば 言葉 で うた 歌う わたし 私たちが しよう しよう
 「さあアイヌ語で歌いましょう」

クナウ ノンノ ヘチラサ。
 Kunaw nonno hecirasa.
フクジュソウ フクジュソウ はな 花 さく 咲く
 「フクジュソウが咲いた」



 おぼ 覚えよう～季節をあらわす言葉～



パイカラ	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
チュク	cuk	「秋」
マタ	mata	「冬」

 れんしゅう 練習

クコロ ハポ ドラノ ケク。
Ku=kor hapo turano k=ek.

わたし かあ わたし く
 私の お母さん とともに 私が来る

「お母さんと一緒に来たんだ」

「わたし かあ」の部分^{ぶぶん}を他の人^{ほかひと}に置き換えて^{おきか}て言^いってみましょう。

クミチ ku=mici 「わたし とう」
 「私のお父さん」
 クコロ エカシ ku=kor ekasi 「わたし」
 「私のおじいちゃん」
 クコロ フチ ku=kor huci 「わたし」
 「私のおばあちゃん」

 れんしゅう 練習

シノツチャキアン 口。
Sinotcaki=an ro.

うた わたし
 歌う・私たちが しよう

「歌いましょう」



「うた」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほかことば}に置き換えて^{おきか}て「～しまし^いょう」と言^いってみましょう。

シノツアン sinot=an 「わたし あそ」
 「私たちが遊ぶ」
 ホシッパン hosippa=an 「わたし かえ」
 「私たちが帰る」
 パイエアン paye=an 「わたし い」
 「私たちが行く」
 イペアン ipe=an 「わたし しょくじ」
 「私たちが食事する」
 ホユッパン hoyuppa=an 「わたし はし」
 「私たちが走る」

がつ たの さんさい
5月 楽しい山菜とり

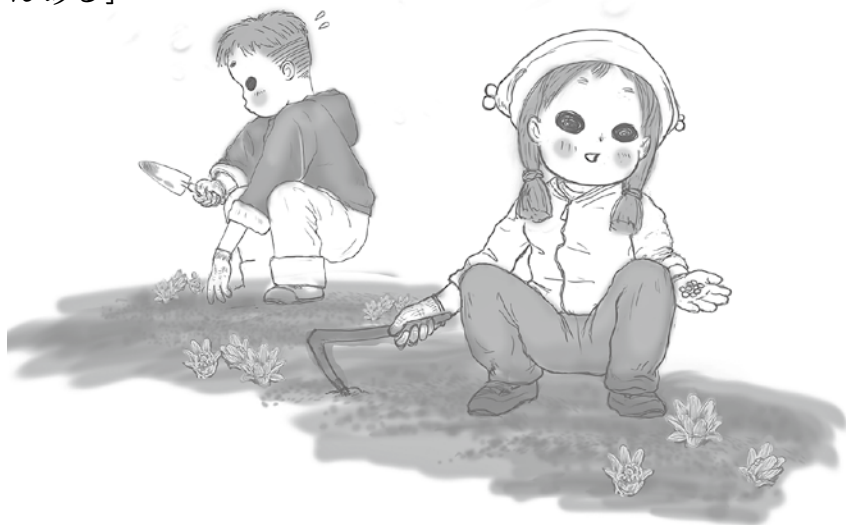
おそ ゆき お やまやま すこ みどり さんさい しょくたく
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきましょう。


キナカㇿアン クス パイエアン ロ。
Kinakar=an kusu paye=an ro.
さんさい わたし やまやま すこ みどり さんさい しょくたく
山菜をとる・私たちが するために 行く・私たちが しよう
「山菜とりに行きましょう」

アハタアン ナ。
Ahata=an na.
ほ わたし
ヤブマメ掘りをする・私たちが ぞ
「ヤブマメを掘るぞ」

タネ クシンキ。 カプカシ エトランネ。
Tane ku=sinki. k=apkas etoranne.
いま わたし つか わたし ある いや
今 私が・疲れる 私が・歩く 嫌がる
「疲れた。歩きたくない」

マカヨ ポロンノ アン。
Makayo poronno an.
フキノトウ たくさん ある
「フキノトウがたくさんある」



 おぼ 覚えよう ～ 春の山菜～
はる さんさい

プクサ	pukusa	「ギョウジャニンニク」
プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」
チマキナ	cimakina	「ウド」
コロコニ	korkoni	「フキ」



 れんしゅう 練習

カプカシ エトランネ。
K=apkas Etoranne.

わたし ある 私が歩く いや 嫌がる

「歩きたくない」

わたし ある 「私が歩く」の部分を ぶぶん 他 ほか の言葉 ことば に お 置き換えて か 「～したくない」と い 言ってみましょう。

クネッキ ku=nepki わたし しごと 「私が仕事をする」
 クिकासイ ku=ikasuy わたし てつだ 「私が手伝いをする」
 クホユプ ku=hoyupu わたし はし 「私が走る」

 れんしゅう 練習

マカヨ ポロンノ アン。
Makayo poronno an.

フキノトウ たくさん ある

「フキノトウが たくさんある」



「フキノトウ」の部分を ぶぶん 上 うえ にあげた ほか 他 さんさい の山菜 お に置き換えて か 「～が たくさんある」と い 言ってみましょう。

♪うたってみよう (1) ~^{もり}森のくまさん~♪

♪ シネアントタ ニタイ ドムタ キムンカムイ クヌカラ
 sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar
 あるひ もりのなか くまさんに であった

♪ ルサム タ ノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ
 ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar
 はなさくもりのみち くまさんにであった

♪ キムンカムイ エネイタキ ポン メノコ ホクレ キラ
 kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira
 くまさんは こういった おじょうさん さあにげて

♪ すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

♪ ネ コロカイ キムンカムイ エノシ ホユプ ワ エク
 ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek
 ところが くまさんが あとから ついてくる

♪ トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト





♪ ポン メノコ エネチウカ ネツカイ エハチレ
 pon menoko en=eciwka nep kay e=hacire
 おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ

♪ レタラセイ アネカラ ポンポン キサルンペ
 retar sey an=ekar pon pon kisarumpe
 しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

♪ キムンカムイ イヤイライケレ ウドラノ リムセアン ノ
 kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no
 くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

♪ ラララ ラララララ ラララ ラララララ

- * ♪ある〜ひ、もりのなか〜で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。
- * アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。
- * 歌詞に使われているアイヌ語は、浦河地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳:平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

6月 走るの^はが^は速^いね

運動会^{うんどうかい}のシーズンです。かけっこ、玉入れ^{たま い}、つな引き^ひ。

がんばっている^{ども}友^{とも}だちをおうえん^はしまし^{やう}しょう。

エホユプ シリ ドナシ。

E=hoyupu siri tunas.

あなたが^{はし}走る^{ようす}様子^{はや}速^い

「君^{きみ}は走る^{はし}の^はが^は速^いね」

タマ アピシキ ロ。

Tama a=piski ro.

玉^{たま} 私^{わたし}たちが^{かぞ}数^{かぞ}える しよう

「玉^{たま}を^{かぞ}数^{かぞ}えま^しょう」

ウエカラバ ヤン。

Uekarpa yan.

集^{あつ}まる しなさい

「集^{あつ}まれえ」


ホクレ アリキキ。

Hokure arikiki.

さあど^{いっしょうけんめい}んどん 一生懸命^{いっしょうけんめい}働^{はたら}く

「さあど^{いっしょうけんめい}んどんが^{いっしょうけんめい}んばれえ」



 おぼえよう～色をあらわす言葉～

レタラ	retar	しろ 「白 (い)」
クンネ	kunne	くろ 「黒 (い)」
フレ	hure	あか 「赤 (い)」

 れんしゅう
練習

アイヌ語で10までの数の数え方を覚えてみましょう。

もの かぞ 数を数える言い方			ひと かぞ 人を数える言い方		
1個	シネブ	sinep	1人	シネン	sinen
2個	ドブ	tup	2人	ドン	tun
3個	レブ	rep	3人	レン	ren
4個	イネブ	inep	4人	イネン	inen
5個	アシクネブ	asiknep	5人	アシクネン	asiknen
6個	イワンペ	iwanpe	6人	イワニウ	iwaniw
7個	アヲワンペ	arwanpe	7人	アヲワニウ	arwaniw
8個	ドペサンペ	tupesampe	8人	ドペサニウ	tupesaniw
9個	シネペサンペ	sinepesampe	9人	シネペサニウ	sinepesaniw
10個	ワンペ	wan	10人	ワニウ	waniw

目はいくつ？ 足の指はいくつかな？
身のまわりにある物や数を数えてみましょう。

兄弟は何人？
身のまわりにいる人の数を数えてみましょう。



が づ う み い
7 月 海 へ 行 こ う よ

かいすいよく かわあそ はま べ あそ ふね の
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乘ったり。アイヌ語を声に出しながら、楽しい
なつ す
夏を過ごしましょう。

タント シリセセク フミ。

Tanto sirsesek umi.

きょう あつ かん
今日 暑い 感じ

「今日は暑いなあ」

エписン エンドラ ヤン。

Episun en=tura yan.

はま て わたし つ
浜手へ 私を・連れる しなさい

「浜へ私を連れて行って」

ピシ タ サパン マ シノッアン ロ。

Pis ta sap=an wa sinot=an ro.

はま に くだ わたし
浜に 下る・私たちが て あそ わたし
遊ぶ・私たちが しよう

「浜に行って遊びましょう」

*ワ「て」はサパンのあとでは、マという発音にかかります。


ナム ワッカ クク ルスイ。

Nam wakka ku=ku rusuy.

つめ みず わたし の
冷たい 水 私が・飲む したい

「冷たい水が飲みたい」



 おぼえよう～暑さ、寒さの言葉～

シリセセク	sirsesek	「暑い」
シリポポケ	sirpopke	「暖かい」
シリメマン	sirmeman	「すずしい」
メアン	mean	「寒い」



 れんしゅう 練習

タント シリセセク フミ。
 Tanto sirsesek humi.
きょう 今日 あつ 暑い かん 感じ
 「今日は暑いなあ」

「暑い」の部分を他の言葉に置き換えて言ってみましょう。

 れんしゅう 練習

ナム ワッカ ク ヤン。
 Nam wakka Ku yan.
つめ 冷たい みず 水 の 飲む なさい
 「冷たい水を飲みなさい」

「冷たい水」の部分を好きな飲み物に置き換えて「～が飲みたい」と言ってみましょう。

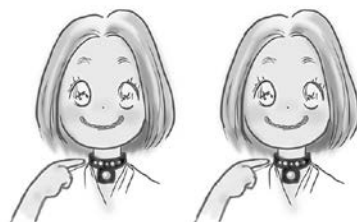


♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪

♪ シネ ドレブ
sine turep
1つの ウバユリ



♪ ド レクドンペ
tu rekutumpe
2つの くびかざり



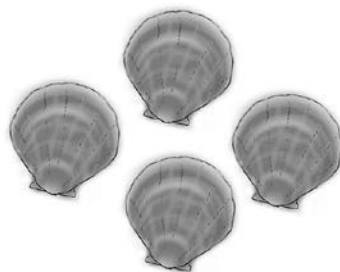
♪ レ イナウル
re inawru
3つの けずりかけ

♪ イネ アツケテク
ine akketek
4つの ほたて

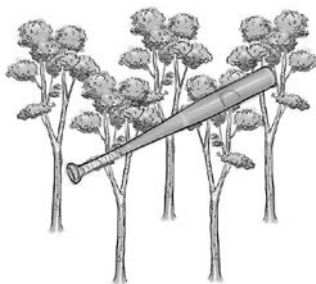


♪ アシクネ イワニ
asikne iwani
5つの アオダモ

♪ アイヌ イタカニ
aynu itak ani
アイヌごで



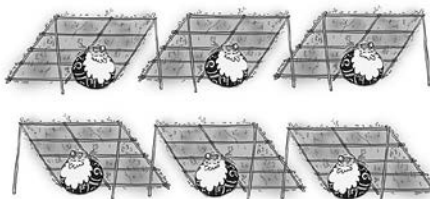
♪ イピシキキ ヤナニ
ipiski ki yan ani
かずを かぞえてね





♪ イワン アラカシ

iwan arkas
6つの かたごや



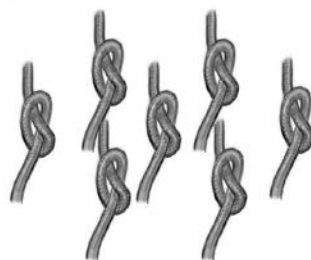
♪ アラワン ドペッ

arwan tupep
7つの むすびめ



♪ ドペサン スネ

tupesan sune
8つの たいまつ



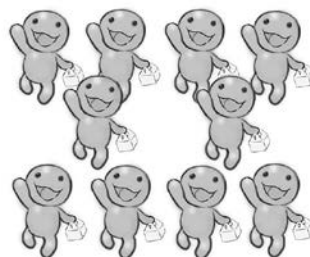
♪ シネペサン ワンパッカ

sinepesan wampakka
9つの てぶくろ



♪ ワン シネウェクル

wan sinewekur
10にんの おきゃくさん



♪ アイヌ イタカニ

aynu itak ani
アイヌごで

♪ シノツチャキアン ロク

sinotcaki=an rok
みんなであうたって みよう

* ひ〜とり、ふ〜たり、さん^{にん} いるよ、よ〜にん、ご〜にん、ろくにん いるよで
知られている「10人のインディアン」に、アイヌ語をつけてみました。

* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語詞: 北原次郎太)

がつ せんぞ たいせつ
8月 先祖を大切に

いのちのそな お祈りとお供えはいつしてもよいので、お盆にあわせておこなうこともよくあります。
ご先祖の事をまわりの人に聞いてみましょう。

シンリッ アエオリパク。

Sinrit a=eoripak.

先祖 私たちが・うやまう

「先祖を大切に思う」

オンカミアン ナ。

Onkami=an na.

拝礼する・私たちが

「拝礼しますよ」

シンヌラッパアン ナ。

Sinnurappa=an na.

先祖供養をする・私たちが

「先祖供養をしますよ」

クポニ タ フチ ウエペケレ キ ワ エンヌレ。


Ku=pon i ta huci uepeker ki wa en=nure.

私が小さいときにおばあさんが昔話をするして私に聞かせる

「私が子ども頃、おばあちゃんが昔話をして私に聞かせました」

*クポン イ「私が小さいとき」はひとまとまりに発音されるとクポニとなります。



 おぼ 覚えよう～おじいさんやおばあさん～

エカシ	ekasi	「おじいさん」
フチ	huci	「おばあさん」
アチャポ	acapo	「おじさん」
ウナラペ	unarpe	「おばさん」



 れんしゅう 練習


クポニ タ フチ ウエペケレ キ ワ エンヌレ。
 Ku=pon i Ta huci uepeker ki wa en=nure.
わたし ちい とき に おばあさん むかしばなし する して わたし き
 私が・小さい とき には おばあさん 昔話 する して 私に・聞かせる
 「私が子どもの頃、おばあちゃんが昔話をして私に聞かせました」

「ウエペケレ」の部分ぶぶんを、ほかの言葉ことばに置き換かえて言いってみましよう。

「ユカラ」「カムイユカラ」「ウポポ」

ウエペケレ uepeker...むかしばなし昔話。おもに、にんげん しゅじんこう はなし人間が主人公のお話。
 ユカラ yukar...おもに、しょうねん えいゆう しゅじんこう はなし うた少年の英雄が主人公のお話。歌のようにメロディーかたにのせて語る。
 カムイユカラ kamuyyukar...おもに、かみさま しゅじんこう はなし神様が主人公のお話。
く かえ もんく い うた繰り返しの文句うたを入れて歌う。
 ウポポ upopo...すわ みじか か し りんよう うたおおぜいで座うたって、短い歌詞を輪唱などで歌う歌。



 かいせつ 解説～ご先祖さまへのお供え～

8月がっになるとお墓参ほかまいりをする人ひとがおおぜいいますね。お墓参ほかまいりをして、亡なくなった人ひとにきれいなお花はなや食べ物たべものをお供えそなして楽たのしんでもらいます。

アイヌの暮らしでは、お墓ほかに行いかず家いえの近くちかでお供えほうをする方おおが多おほかったようです。お花はなではなく木きで作つくったイナウごへいじょう（御幣状だんごのもの）、お団子だんごやお菓子かしやお酒さけ、たばこ、亡なくなった人ひとが好すきだったものをお供えそなします。

亡なくなった人ひとたちは、あなの世よで暮くらしているのひで、火ひの神様かみさまに「お供え物そなを届とどけてください」とお願ねがいします。それから、亡なくなった人ひとの名前なまえを言いって、自分じぶんの名前なまえも言いながら「これをお供えそなします」といいってお供えそなをします。食べ物たべものはみんなちぎちぎって地面じめんにままぎます。飲み物のも地面じめんにままぎます。そうすると、食べ物たべもののいのちが何倍なんばいにもななって、亡なくなった人ひとのとところに届とどくといいわられています。

がっ
9月 おいしいものがいっぱい

あき 秋になると、^{やま さち}山の幸、^{うみ さち}海の幸、おいしいものがいっぱいです。特にサケは大事な食べもので、^{いろいろ りょうり}色々な料理になります。

タネ クイペルスイ。

Tane ku=iperusuy.

いま わたし なか
今 私が・お腹がすく

「お腹がすいたよ」

タン チポ□ サヨ エ ヤン。

Tan cipor sayo e yan.

この ^{すじ こ}筋子 ^{おかゆ}おかゆ ^た食べる ^{なさい}なさい

「この筋子の入ったおかゆを食べなさい」

タン ペ シノ ケラアン。

Tan pe sino keraan.

この ^{ほんとう}もの 本当 ^{おいしい}おいしい

「これは本当においしい」

カルシ アカㄱ クス エキムネ

Karus a=kar kusu ekimne

キノコ ^{わたし}私たちが・^と採る ^{ため}ために ^{やま}山へ


「キノコを採りに山へ行きましょう」

パイエアン

paye=an

^い行く・^{わたし}私たちが



 おぼ 覚えよう～さかなに かん に関する こと ぼ 言葉～

カムイチェブ	kamuycep	「サケ」
イチャニウ	icaniw	「マス」
スプン	supun	「ウグイ」
スサム	susam	「シシャモ」



 れんしゅう 練習

タン チポロ シト エ ヤン。
Tan cipor sito e yan.

この 筋子 団子 食べる なさい

「この筋子をまぶした団子を食べなさい」

「筋子をまぶした団子」の部分^{ぶぶん}を他の食べ物^{ほか たもの}に置き換えて「～を食べなさい」と^いって
みましょう。

ペネエモ peneemo 「しばれいもの団子」
 チェブ オハウ cep ohaw 「魚のおつゆ」
 チタタブ citatap 「魚の生のたたき料理」

 れんしゅう 練習

カルシ アカラ クス パイエアン ロ。
Karus a=kar kusu paye=an ro.

キノコ 私たちが採る ために 行く 私たちが しょう

「キノコを採りに山へ行きましょう」



♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪

おびひろ たの 帯広には楽しいうたとおどりがたくさん伝わっています。みんなでうたってみましょう。地元のひとにおそわっておどりもおぼえましょう。

○へレカンホ○

♪へレカンホ へレカンホ イ へレカンホ へイ チュイ アウ ホイ
herekanho herekanho i herekanho hey cuy aw hoy



①両手をひだりしたに、左足をすすめる→両手を右上にパン、右足をよせる



②かがんで両手でひざをポンポン→左にとびながら体をひねって両手をひらく



③左足を小さくふみだし両足でピョン→右足を小さくふみだし両足でピョン





○パッタキリムセ○

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

♪ ハ！チコツチャケ タ チコツカパケ チウトモキ！
 ha! ci=kotcake ta ci=kokkapake ci=utomoki!
わたし まえ わたし わたし う あ
 私の前 で 私のひざ 私が・打ち合わせる（？）



- ①腰をかがめ、肘を曲げて両手を後ろへ、いっしょに片足をかかとから後ろへ手
あし まえ あし すこ まえ
 と足を前へもどしながら、もどした足を少し前へすすめる（交互に繰り返し）
 ②歌が変わったところで膝を屈伸し両手で膝をポンポン

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

♪ ハ！チオシマケ タ チシットケウエ チウトモキ！
 ha! ci=osmake ta ci=sittokewe ci=utomoki!
わたし うし わたし わたし う あ
 私の後ろ で 私のひざ 私が・打ち合わせる（？）



- ③歌がもどったら①と同じ動き
 ④歌が変わったところで膝を屈伸し、両手を後ろに伸ばしてポンポン



10月 冬が来る前に

秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

クミチ サツチェブ ポロンノ ホク。

Ku=mici satcep poronno hok.

わたしのお父さん 干し魚 たくさん 買う

「父さんは干し魚をたくさん買った」

クコロ ハポ カルシ サツケ。

Ku=kor hapo karus satke.

私の お母さん キノコ 乾かす

「お母さんはキノコを干した」

ソイ ペカ シノッアン ロ。

Soy peka sinot=an ro.

外へ で遊ぶ・私たちが しよう

「外で遊びましょう」

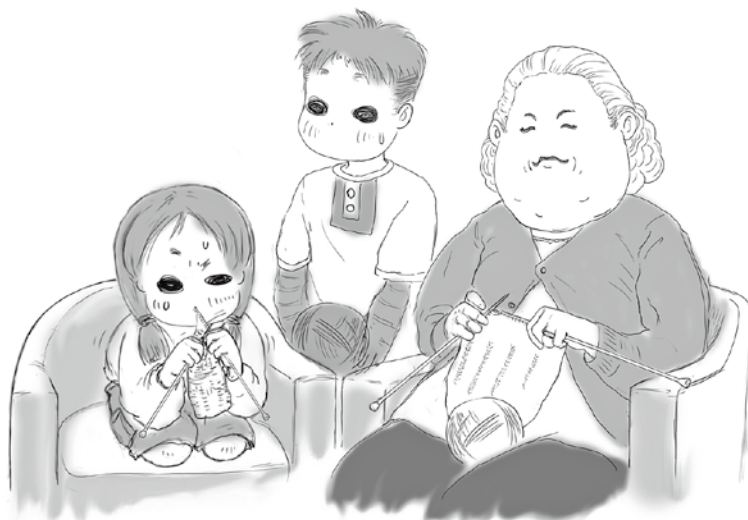
レラ ユプケ クス チセ オツ タ シノッアン ナ。


Rera yupke kusu cise or ta sinot=an na.

風 激しい ので 家 中 で遊ぶ・私たちが ぞ

「風が強いから、家の中で遊ぶぞ」

* オロ「中」は、タのまえでは、オツという発音にかかります。



 おぼえよう～天気に関する言葉

アプト	apto	「雨 <small>あめ</small> 」
レラ	rera	「風 <small>かぜ</small> 」
ウパシ	upas	「雪 <small>ゆき</small> 」
カウカウ	kawkaw	「あられ」



 れんしゅう 練習

クミチ サツチェブ ポロンノ ホク。
 Ku=mici satcep poronno hok.
わたし・とうのお父さん ほ ざかな 干し魚 たくさん か 買う
 「父さんは干し魚をたくさん買った」

「干し魚」の部分ほを他の物ざかなに置き換ぶえて「父さんは～をたくさん買った」と言いってみましよう。

 れんしゅう 練習

レラ ユパケ クス チセ オツ タ シノツアン ナ。
 Rera yupke kusu cise or ta sinot=an na.
かぜ ほ つよ 激しい い え なか 家で あそ わたし 遊ぶ・私たちが ぞ
 「風が強いから、家の中で遊ぶぞ」

「風が強い」の部分かぜを「雨が降ふる」「雪ゆきが降ふる」「あられあが降ふる」に置き換かえて言いってみましよう。

アプト アシ apto as 「雨あめが降ふる」
 ウパシ アシ upas as 「雪ゆきが降ふる」
 カウカウ アシ kawkaw as 「あられあが降ふる」



がつ はり いと
11月 針と糸をもって

てづくりのものが身のまわりにある、手間と時間をかけて作ったものを渡される、少し暖かな気分になります。アイヌ語で言ってみましょう。

クミチ アツドシ ミ。

Ku=mici attus mi.

わたしのお父さん 樹皮衣 着る

「お父さんがアツドシを着る」

クコロ ハポ イカヲカラ エアシカイ。

Ku=kor hapo ikarkar easkay.

わたしのお母さん 刺しゅう できる

「お母さんは刺しゅうがじょうず」

タン アミプ クコロ ペ ネ ナ。

Tan amip ku=kor pe ne na.

この着物 私がお持ちするものであるぞ

「この着物は私のものだよ」


クコロ サポ カエカ ワ アシケペチ アヲカ。

Ku=kor sapo kaeka wa askepeci arka.

私がお持ちする姉 糸を作る して 手の指 痛い

「姉さんがは糸作りをして手の指が痛くなった」



 おぼえよう～針仕事の言葉～

ケム	kem	「針」
カ	ka	「糸」
ヌイト	nuyto	「縫い糸」
カタク	katak	「糸玉」



 練習

タン アミプ クコロ ペ ネ ナ。

Tan amip ku=kor pe ne na.

この 着物 私が持つものであるぞ

「この着物は私のものだよ」

「私の着物」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて「これは～だよ」と言^いってみましよう。

コンチ konci 「帽子」

パスイ pasuy 「はし」

イタンキ itanki 「おわん」

 練習

アシケペチ アラカ。

Askepeci arka.

手の指^{ゆび}が痛い^{いた}

「手の指が痛い」

「手の指」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて「～が痛い」と言^いってみましよう。

クサパ ku=sapa 「私の頭」

クレクチ ku=rekuci 「私の喉」

クホニ ku=honi 「私の腹」

クミマキ ku=mimaki 「私の歯」

クイッケウエ ku=ikkewe 「私の腰」



♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜^{よる}～

♪ ジングルベル ♪
♪ ウパシ ポロ ヌソ アオ ワ

upas poro nuso a=o wa
すごいゆきだ ソリにのって

♪ パイエアンロ ミナアン カネ

paye=an ro mina=an kane
でかけよう わらいながら

♪ ヌソ エトコタ エトロ チャラケ

nuso etoko ta etor carke
ソリのまえて すずがちりん

♪ アエケウドムシノチタラ

a=ekewtumusinocitara
みんなのきもちもわくわくさ

♪ ジングルベルジングルベル ドヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる

♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし

♪ ジングルベルジングルベル ドヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる

♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし





♪ きよしこの夜^{よる} ♪

♪ シオイナ タヌクラン
sioyna tan ukuran
せいなる このよる

♪ キヤイ ノチウ
kiyay nociw
かがやくほし

♪ カムイ ポンテイネシ
kamuy pon teynesi
かみの おさなごは

♪ コロ ハポ ウソロ
kor hapo upsoro
ははの ふところに

♪ エモコロ キナ アプニタラ
emokor ki na apunitara
ねむっている やすらかに



* クリスマクソングの定番^{ていばん}である「ジングルベル」と「きよしこの夜^{よる}」にアイヌ語^ごをつけてみました。

* 歌詞^{かし}に使われているアイヌ語^ごは、**幌別地方の言葉**^{ほろべつちほう ことば}が中心^{ちゅうしん}となっています。

(アイヌ語訳: 平成^{へいせい}22年度^{ねんど}イオル事業^{じぎょう}・アイヌ文化^{ぶん}伝承^か者^{でんしゅ}育成^{りやう}事業^い 講師^{こうし}・受講^{じゅこう}者^{しゃ}の皆さん^{みな})

がつ きょう さむ
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けましよう。

ウパシ アシ ナ。
Upas as na.
ゆき ふ 降る ぞ
「雪が降ったぞ」



クテケ カ ナム。 クケマ カ ナム。
Ku=teke Ka nam. ku=kema ka nam.
わたしの手 も つめ 冷たい わたし あし も つめ 冷たい
「手も冷たい。足も冷たい」

アペアリ ヤン。
Apeari yan.
ひ た 火を焚く なさい
「火を焚きなさい」

エオムケカラ ヤ?
E=omkekar ya?
あなたが風邪をひく か
「風邪をひいたの？」



ぬりえ

好きな色をぬってみましょう。アイヌ語の色をあらわす言葉も、あわせておぼえましょう。

コンカネ	konkane	きん 金
クンネ	kunne	くろ 黒 (い)
フレ	hure	あか 赤 (い)
シウニン	siwnin	みどり 緑 (である)



シロカネ	sirokane	ぎん 銀
レタラ	retar	しろ 白 (い)
シウニン	siwnin	あお 青 (い)
		むらさき 紫 (である)
		きいろ 黄色 (い)

がっ まっ じゅんび
1月 お祭りの準備

ふゆ まつ おとこ ひと じゅんび おんな ひと じゅんび
冬にはお祭りがたくさんあります。男の人の準備、女の人の準備、どんなことをして
いるのでしょうか。

アシリ パ アン ナ。

Asir pa an na.

あたら とし 年 ある ぞ
新しい 年 ある ぞ

「新しい年になりました」

オッカヨ ウタヲ イナウケ。

Okkayo utar inawke.

だんせい 男性 たち 木幣を削る

「男の人たちはイナウを削る」

メノコ ウタヲ トノト カヲ。

menoko utar tonoto kar.

じょせい 女性 たち 酒 つく

「女の人たちはお酒を仕込む」

イテキ ウコイキ ヤン。

Iteki ukoyki yan.

するな けんか 喧嘩をする なさい

「喧嘩をしてはいけません」


ポンノ エンカスイ ヤン。

Ponno en=kasuy yan.

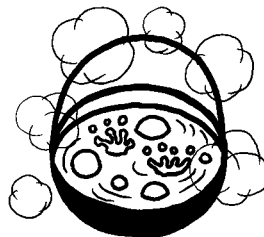
すこ 少 しばし わたし て 手伝う なさい

「少し手伝ってちょうだい」



 おぼ 覚えよう～^{どうぐ}道具や^{りょうり}料理の^{なまえ}名前～

マキリ	makiri	^{こがたな} 「小刀」
タシロ	tasiro	^{やまがたな} 「山刀」
ドキ	tuki	^{しゅはい} 「酒杯」
ラタシケブ	rataskep	^ま ^{もの} ^{りょうり} 「混ぜ物料理」
オハウ	ohaw	「おつゆ」



 ^{れんしゅう}練習

イテキ ウコイキ ヤン。
Iteki ukoyki yan.

するな ^{けんか} 喧嘩をする なさい

「喧嘩をしてはいけません」



「^{けんか}喧嘩をする」の部分^{ぶぶん}を他の^{ほか}言葉^{ことば}に置き換えて「～^おしてはいけません」と言^いってみましよう。

イララ irara 「いたずらをする」

シノツ sinot 「遊ぶ」^{あそ}

イオイラ ioyra 「物忘れする」^{ものわす}



♪うたってみよう(5)～ からだのうた (しずかなこはん)～♪

① ♪ サパ(ハ) エトウ(フ) シキ(ヒ) パロ(ホ)

sapa(ha) etu(hu) siki(hi) paro(ho)
あたま頭 はな鼻 め目 くち口



♪ キサラ(ハ) ナヌ(フ)

kisara(ha) nanu(hu)
みみ耳 かお顔



♪ オトピ(ヒ) レクチ(ヒ)

otopi(hi) rekuci(hi)
かみ髪 くび首



♪ テケ(ヘ) ホニ(ヒ)

teke(he) honi(hi)
て手 はら腹



♪ コッカサパ(ハ) ウレ(ヘ)

kokkasapa(ha) ure(he)
ひざ あし足



♪ ケマ(ハ) オソロ(ホ)

kema(ha) osoro(ho)
あし脚 しり





② ヤドポキ(ヒ) シットキ(ヒ)

yatupoki (hi) sittoki (hi)
わき 脇 ひじ 肘



アシケペチ(ヒ) アミ(ヒ)

askepeci (ni) ami (hi)
ゆび 指 つめ 爪



テッコトロ(ホ) ペンラム(フ)

tekkotoro (ho) penramu (hu)
てのひら 掌 むね 胸



パルンペ(ヘ) ミマキ(ヒ)

parunpe (he) mimaki (hi)
した 舌 は 歯



ラル(フ) ハンク(フ)

raru (hu) hanku (hu)
まゆ 眉 へそ 臍



イッケウエ(ヘ) セトル(フ)

ikkewe (he) seturu (hu)
こし 腰 せなか 背中



☆「静かな湖畔」のふしにあわせて、からだの各部の呼び方を覚える歌です。指差したり、動かしたりしながら覚えましょう。
 下線を引いた単語は () の中まで歌います。

さくせい きたはらじろうた
 (作成:北原次郎太)

がつ かんしゃ
2月 カムイに感謝をする

アイヌの大きなお祭りのひとつに、イオマンテという行事があります。おおぜいの人
が集まって、人間の世界にやって来た動物のたましいを、神さまの世界に送り帰します。

アペフチ オルン クコロ アチャポ オンカミ。

Apehuci or un ku=kor acapo onkami.

火の女神 ところへ 私が持つ おじさん 拝礼する

「火の男の神様、火の女の神様に私のおじさんが拝礼しました」

* オロ ウン「ところへ」はひとまとまりに発音してオルンになります。



クユピ ヘペレアイ エアク。

Ku=yupi heper'ay eak.

私の兄さん 花矢 射る

「兄さんが花矢を射る」

ウ克蘭 クモコロ エアイカプ。

Ukuran ku=mokor eaykap.

昨晚 私が眠る できない

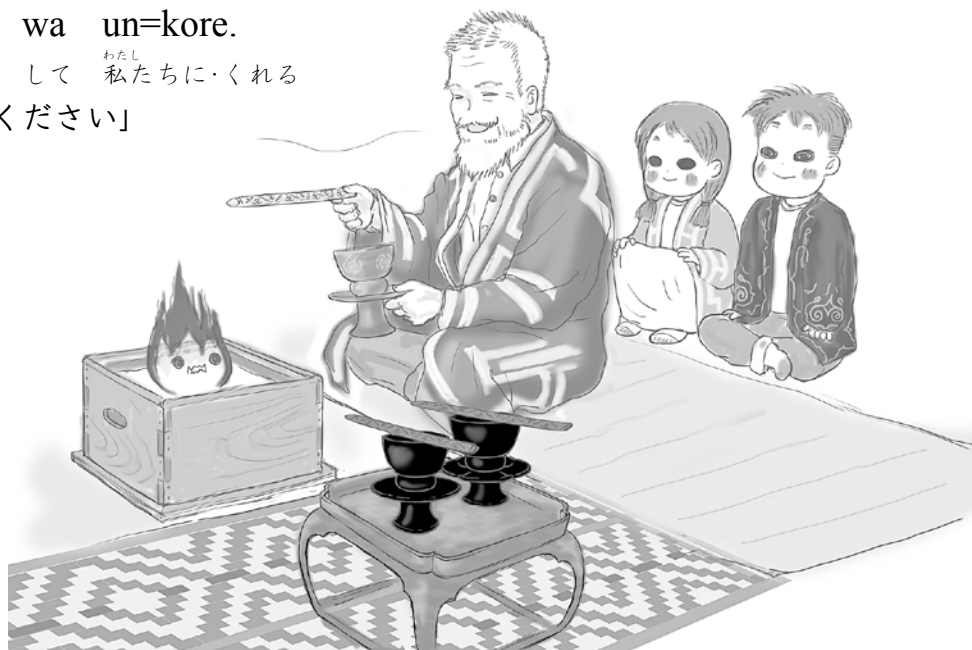
「昨日の夜は眠れなかった」


カンナ シネウエ ワ ウンコレ。

Kanna sinewe wa un=kore.

また 訪問する して 私たちに・くれる

「また遊びに来てください」



 おぼ 覚えよう～お祭りに使う言葉～

ヤイライケ	yayirayke	「感謝する」
ヌサ	nusa	「戸外の祭壇」
ロルンプヤラ	rorunpuyar	「上座の窓」



 れんしゅう 練習


クモコロ エアイカプ。
Ku=mokor eaykap.

わたし ねむ
私が・眠る できない
「私は眠れなかった」

わたし ねむ ぶぶん ほか ことば お か わたし
「私が眠る」の部分をも他の言葉に置き換えて「私は～できなかつた」と言ってみましょう。

クホプニ ku=hopuni 「私が起きる」
クシノッ ku=sinot 「私が遊ぶ」
クスケ ku=suke 「私が料理する」



 かいせつ 説明～神さまを送るお祭り～

アイヌの考え方では、多くの動物は神さまであるとされます。それらの動物は、人間の世界では動物のくっこうをしていますが、神の住む世界では人間と同じように暮らしているのだといひます。人間は、動物のくっこうをして人間の世界に遊びにきた神さまのたましいを、神の住む世界に送り帰すために、いろいろな儀式をおこなひます。

生まれて間もない子グマを育てて、一定の時期が来たたらそのたましいを送り帰す儀式、祭りを一般的にイオマンテといひます。

火の神をはじめ、さまざまな神々の力を借りて、子グマのたましいが無事に神の国に戻れるようにお祈りをします。子グマには、たくさんのみやげを持たせて、神の国でしばらくお休みになつたら、また人間の世界に遊びに来てくださひ、とお祈りします。男の人たちは飾りのついた矢（一般に「花矢」といひます）で子グマを射て、そのまわりを女の人たちが輪になつて踊ります。この祭りは、アイヌの儀式の中でも盛大におこなわれるものの一つで、何日もの間、夜遅くまで続きます。

子グマのたましいは、無事に神の世界に戻つたら、たくさんのみやげにかこまれながら、人間のもとを、またいつか訪ねようと思ひるのだとすうです。

3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山獵をすると、母グマと一緒に生まれたばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神さまから子グマの飼育を任せられたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられてきました。

クミチ、 フナクン パイエアン?

Ku=mci hunak un paye=an?

わたし・ちちおや 私の・父親 どこ へ 行く・あなたが

クミチ、 フナクン エアラパ

Ku=mci hunak un e=oman a?

わたし・ちちおや 私の・父親 どこ へ あなたが・行く か

「お父さん、どこに行くの？」

*フナク・ウン「どこ・へ」はひとまとまりに発音してフナクンになります。

イラマンテ クス エキムネ カラパ。

Iramante kusu ekimne k=arpa.

やまりょう 山獵をする ために やま 山へ わたし 私が・行く

「山に獵に行くんだ」

カニ カ カラパ ルスイ。

Kani ka k=arpa rusuy.

わたし 私 も わたし 私が・行く したい

「僕も行きたいなあ」


ポン ヘペレ シノ ピリカ。

Pon heper sino pirka.

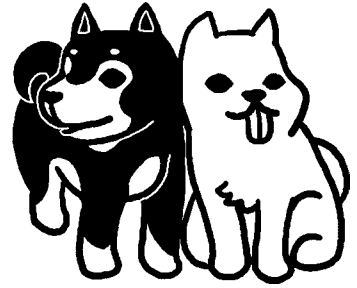
ちい 小さい ミ 子グマ ほんとう 本当に よい

「子グマはとてもかわいい」



 おぼえよう～「小さな」の言い方～

ポン	ヘペレ	pon heper	「子グマ」
ポン	チカフ	pon cikap	「小鳥」
ポン	チェフ	pon cep	「小魚」
ポン	セタ	pon seta	「小犬」



* ポン「小さい」は、セタ「犬」の前では、ポイという発音にかわることもあります。

 練習

カニ カカラパ ルスイ。

Kani ka k=arpa rusuy.

わたし も 私が行く したい

「僕も行くたいなあ」

「私が行く」の部分^{わたし}を他の言葉^いに置き換えて「私も～したい」と言ってみましょう。

ケラアン アエフ ケ keraan aep k=e

クシネウエ ku=sinewe

クシノツ ku=sinot

「私がおいしいものを食べる」

「私が遊びに行く」

「私が遊ぶ」



これまで学んできた文の中に、「ク ku=」と「エ e=」という言葉がいくつも出てきます。「ク ku=」は、日本語で「私が（私は）」、「エ e=」は「君が（君は）」という意味です。

アイヌ語では、「食べる」「飲む」「遊ぶ」など、自分が何かをする場合には、「～する」という意味のアイヌ語の前に、必ず「ク ku=」という言葉を付けます。

例えば、「私は外で遊んだ後にお菓子を食べて、それから水を飲んで寝た」という文をアイヌ語にしようとする、「遊んだ」、「食べて」、「飲んで」、「寝た」の4つをアイヌ語にしてから、4つ全部に必ず忘れずに「ク ku=」を付けます。これはアイヌ語の大事な決まりごとのひとつです。

詳しいことは『初級編』で、また勉強しましょう。

☆12カ月の月のなまえ☆

アイヌ語による月の言い方を紹介します。地域によって言い方に違いがあります。

4月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシルレチュブ arakoj noka モチユブ	upasrurecup arakoj noka mocup	「雪をとかす月」 「キウリ魚の姿を見る月」 「達者で静かに暮らしているから」
5月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ムンドッカチュブ ihumpa čux シンチチュブ	muntukkacup ihumpa čux sincicup	「草を生やす月」 「山菜を刻む月」 「これからあたたかくなる」
6月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トイタチュブ ima čux マウタチュブ	toytacup ima čux mawtacup	「土を掘る月」 「魚の焼干しを作る月」 「ハマナスを植える月」
7月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネヤシチュブ saxčex čux マウチチュブ	kunneyascup saxčex čux mawcicup	「夜流し網する月」 「乾魚を作る月」 「ハマナスが熟す月」
8月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネスシチュブ ikara čux ハブラブ	kunnesuscup ikara čux haprap	「夜沐浴する月」 「？」 「木の葉が落ちそうにたれさがる月」
9月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ヤシチュブ urexkita čux ニホラク	yascup urexkita čux nihorak	「流し網する月」 「足裏に霜を感ずる月」 「草や木の葉がおちる月」
10月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	コムニランチュブ komnirancup ウレポク	komnirancup surani čux urepok	「松明による川漁の月」 「足の裏で霜柱がパラパラ鳴るから」
11月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ニテ克蘭ケチュブ nitekrankecup ルウェカリチュブ	nitekrankecup nan čux ruwekaricup	「木の枝落とす月」 「寒冷な月」 「鹿を追って先回りする月」
12月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシランケチュブ upasrankecup チュルブ	upasrankecup rū čux curup	「雪降らす月」 「凍結する月」 「雪煙が立つ月」
1月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	イノミチュブ inomicup トウエタンネ	inomicup toetanne towetanne	「祈る月」 「日が永くなる月」 「1月日が長くなる」
2月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	タシクルチュブ taskurucup クウェカイ	taskurucup haxrax kuwekay	「霜降る月」 「黒百合塊茎を掘る月」 「雪で仕掛け弓に使う台が壊れる」
3月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トエタンネ toetanne キウタチュブ	toetanne kiūta kiwtacup	「日長くなる」 「姥百合塊茎を掘る月」 「ユキザサ」

* 石狩川方言の月名は『昭和56年度アイヌ民俗文化財調査報告書 アイヌ民俗調査Ⅰ(旭川地方)』(北海道教育委員会, 1982年) から引用しました。ただし、日本語訳は同書の内容を要約してつけたものです。これは旧暦に基づいた月名です。

* 多蘭泊方言の月名は、山本祐弘『樺太アイヌ・住居と民具』(相模書房, 1970年) から引用しました。ただし日本語訳は分りやすく変えたところがあります。なお、čuxはチュ、xは小さいハ、ヒ、フ、ヘ、ホに近い音だと考えられます。

* ※沙流の月名は田村すず子さんの『アイヌ語沙流方言辞典』を参考にしています。これは旧暦に基づいた月名です。

■クロスワードの正解 せいかい

		4	コ		7	サ	ク
1	エ	ト	ロ			ツ	
	カ		5	コ	ン	チ	
	シ		ニ			エ	
		3	マ		6	ア	プ
2	オ	タ			ハ		

さるのアイヌご

発行年月 2014年3月 初版 第一刷
2015年3月 初版 第二刷

発 行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階
TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181
URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: ainu@frpac.or.jp

印 刷 株式会社北海道機関紙印刷所

